

# 平成29年度 大阪府公文書館第1回企画展を振り返って

## ■はじめに

大阪府公文書館では、大阪府の歴史に関連する題材をテーマに所蔵資料を用いて企画展示を開催しています。これは、公文書館に足を運ばれた府民の皆様へ、歴史的価値のある公文書を収集・保存することの重要性を理解していただくために実施するものです。

## ■第1回企画展

平成29年4月1日から同年9月30日まで、「大阪府公文書館30周年—公文書にみる大阪府公文書館の誕生」をテーマとする企画展を開催しました。展示の趣旨は、公文書等の資料に基づいて、大阪府公文書館がどのような目的で、どのような経緯を経て創設されたのかを明らかにすることです。

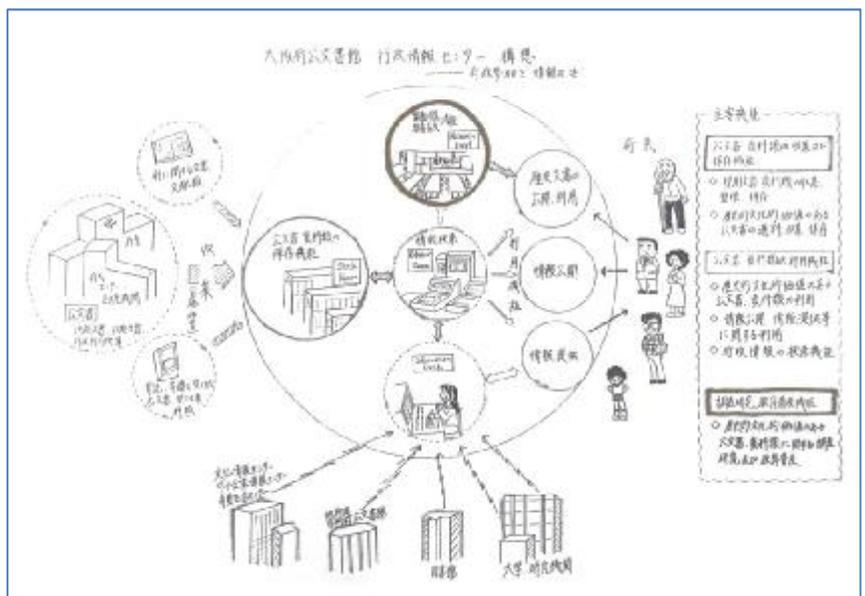
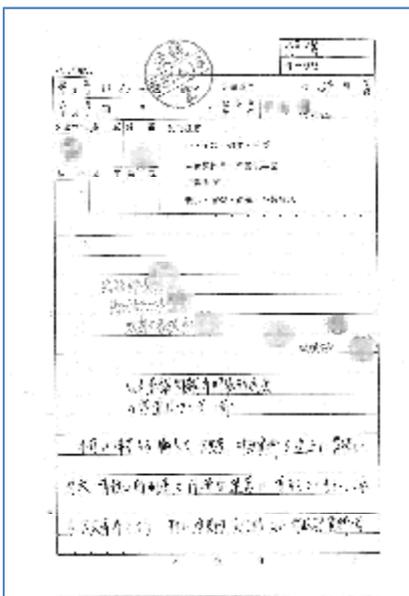
資料①は、大阪府が文書館設立に向けて立ち上げた「公文書館問題専門家研究会」の設置に関する公文書の綴りです。

「公文書館問題専門家研究会の設置について(同)」は、昭和57年6月10日に当時の大阪府総務部法制文書課によって起案され、同年6月15日に決裁を受けました。これにより、昭和57年7月に「公文書館問題専門家研究会」が設置されました。

同研究会の設置趣旨は、「本府が保有する膨大な公文書、行政資料を適正に管理し、将来情報公開制度の円滑な運営に資するとともに、これら公文書等のうち、特に歴史的文化的又は行政的資料価値の高い公文書についてその保存の徹底を図るためには、公文書の保存、検索及び閲覧等の機能を有する公文書館の具体化を行うとともに、あわせて歴史的文化的又は行政的資料価値のある公文書等の評価基準及びその保存のあり方等について調査、検討を進めていく必要」がある、というものです。

資料②は、昭和58年5月10日開催の大阪府の定例部長会議において、「公文書館問題専門家研究会」が岸昌知事に対して、「大阪府公文書館の基本構想について」の提言を行ったことを記録しているものです。

この提言は、「大阪府公文書館の基本構想についての提言(要旨)—行政情報センターの実現と歴史資料の保存のために—」という報告書に基づいて行われたものでした。同報告書は、「行政情報を集中的に管理し情報の公開、提供等、情報利用ニーズに応えうる行政情報センターとしての機能と、公文書館の伝統的機能である歴史資料の保存、利用の機能を有する複合的施設」とし、二つの機能を備える「大阪府公文書館」を想定したものです。



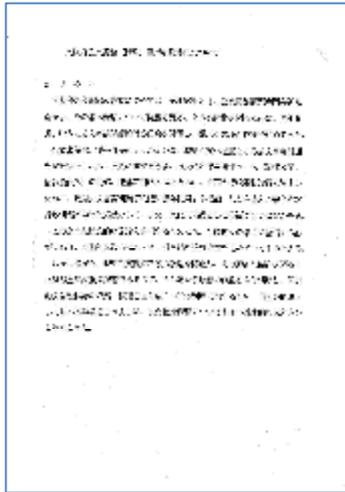
資料① 『公文書館問題専門家研究会』 B3-2003-19-1

資料② 『部長会議 昭和58年度』 B3-1994-1

資料③は、大阪府内部の公文書館設置に関する意思決定過程を記録する公文書の綴りです。

大阪府は、昭和58年5月の「公文書館問題専門家研究会」の提言を受け、同年6月に、府庁内部に「公文書館問題検討委員会」を立ち上げました。

翌59年3月、委員会は、議論・検討を重ねて「大阪府公文書館(仮称)構想の具体化について」という試案を取りまとめました。この試案では、既存施設の大阪女子大学旧図書館を大阪府公文書館の施設として決定しました。



資料③ 『公文書館問題検討委員会』 B3-2003-22-1

資料④は、大阪府公文書館設立について大阪府がどのような設立計画を作成したのかを記録する公文書の綴りです。

昭和59年5月、大阪府内部のプロジェクト「公文書館問題検討委員会」は、「大阪府公文書館(仮称)設立第1次基本計画」を策定しました。この基本計画は、「公文書館専門家研究会」の提言に盛り込まれた二つの機能の

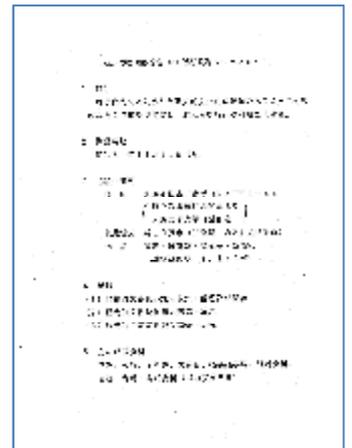


資料④ 『公文書館設計計画』 B3-2003-25-1

うち、当面緊急の課題である歴史的文書資料類の収集、保存とその利用にしばり、既存の施設を有効利用して公文書館の実現を図る、ということを決めたものです。

資料⑤は、昭和60年10月29日開催の大阪府の部長会議において、「公文書館の開設について」という議題が検討されていたことを示すものです。

約3年の検討を経て、昭和60年11月11日(月)、歴史的文書資料類等の体系的かつ適正な収集および保存を行うとともに、これを調査および研究に供するため、「大阪府公文書館」は、大阪市住吉区帝塚山の旧大阪女子大学図書館を転用して開設されることとなりました。



資料⑤ 『昭和60年 部長会議資料』 B3-0062-132

■おわりに

以上、昭和60年に開館した大阪府公文書館の設立過程を公文書などの資料に基づいて振り返ってきました。「歴史は鑑なり」という諺があります。今回の展示で示された公文書館創立の理念は、今後の大阪府公文書館がどうであるべきかについて多くの示唆を含むものです。

今後も、このような企画展示を開催し、府民の皆様が親しまれ、身近な公文書館となるよう努力していきたいと考えておりますので、一層のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

【公文書館専門員 謝政徳】